

図版 2 周辺航空写真(2008年撮影、縮尺約1/11,000)



図版3 調査写真 1.調査開始前(北西より) 2.調査終了後(北西より)



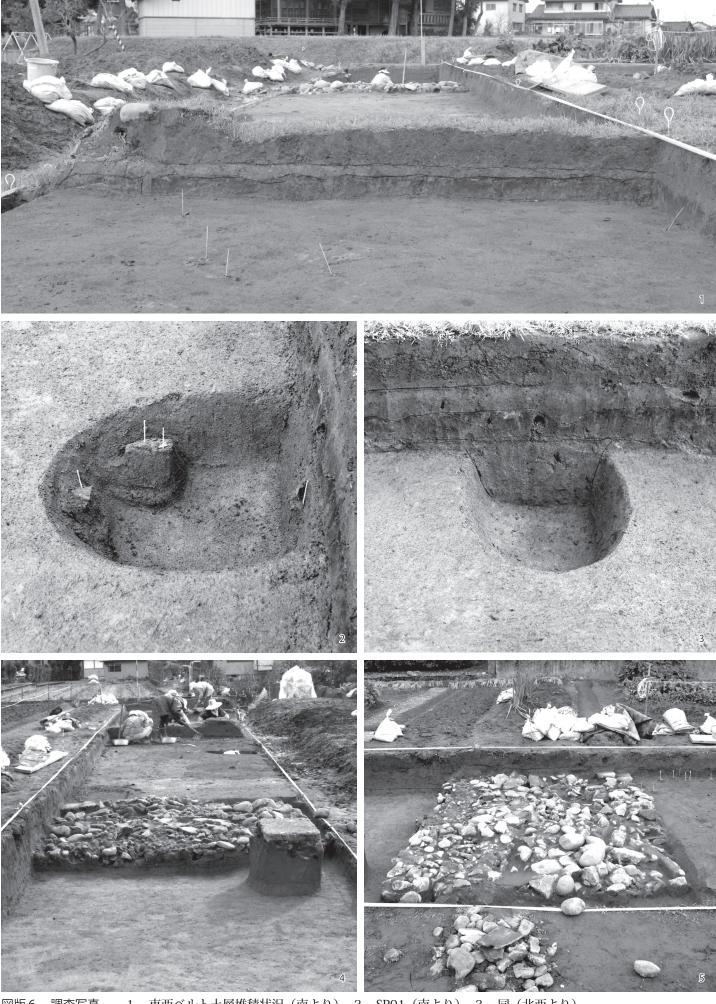
図版4 調査写真 1. 完掘状況(北より) 2. 同(南より)







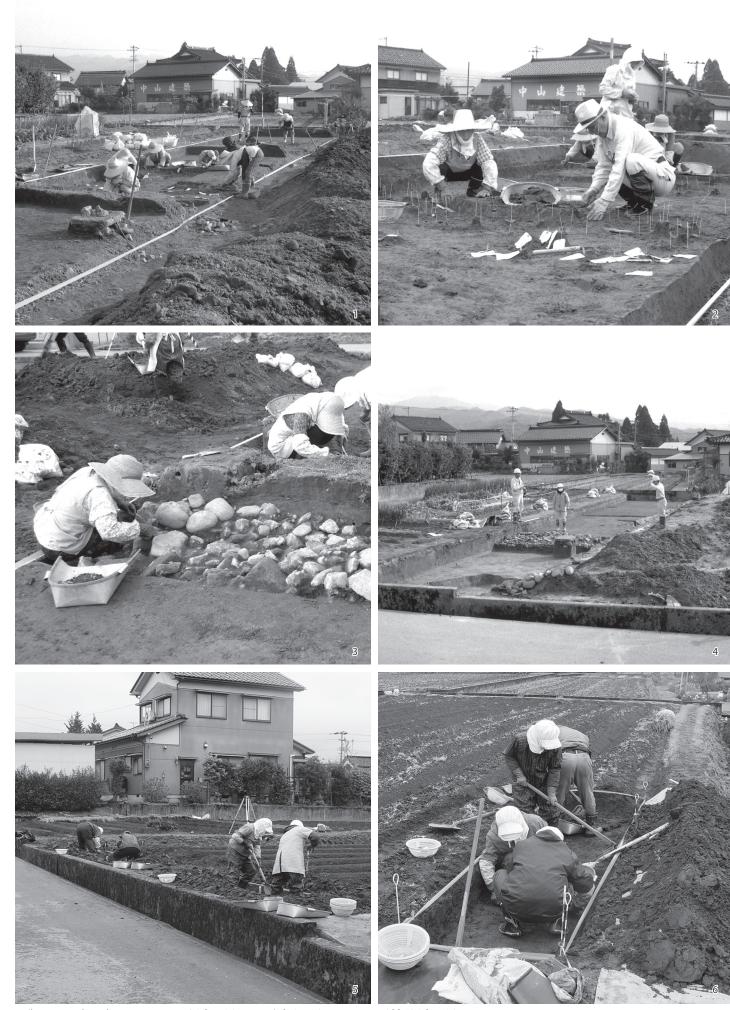
図版 5 調査写真 1. 東壁土層堆積状況(南西より) 2. 同(北西より) 3. 同(北西より)



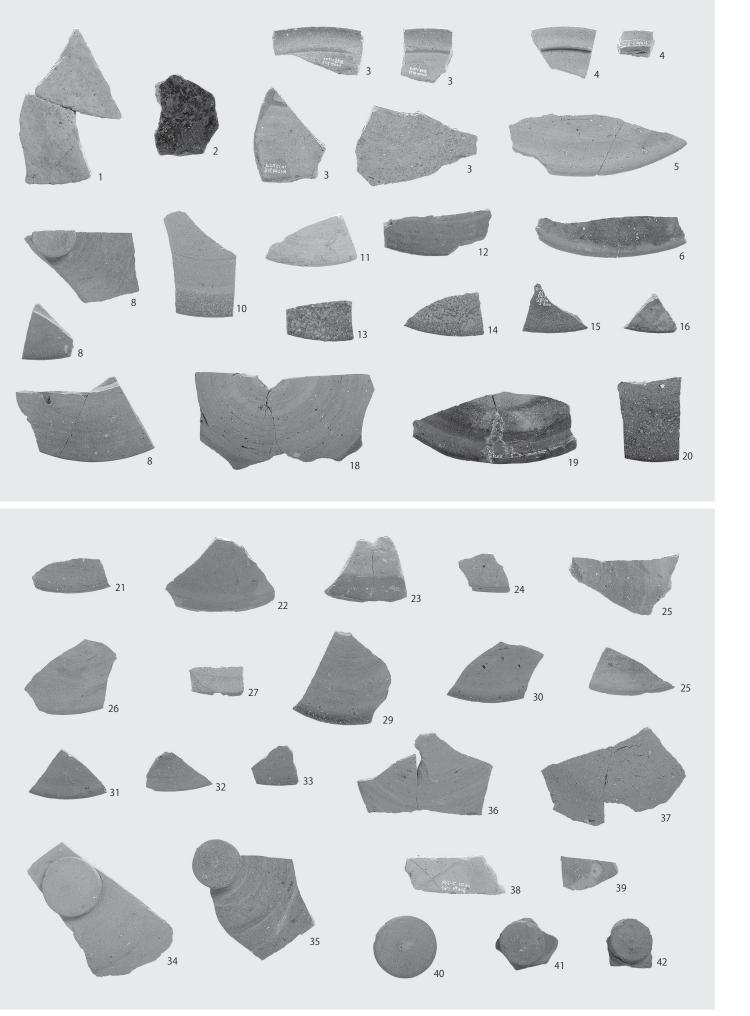
図版 6 調査写真 1. 東西ベルト土層堆積状況(南より) 2. SP01(南より) 3. 同(北西より) 4. SX01(北より) 5. 同(西より)



図版7 調査写真 1-4. 遺物出土状況 5. 調査風景



図版8 調査写真 1-3. 調査風景 4. 測量風景 5-6. 試掘調査風景

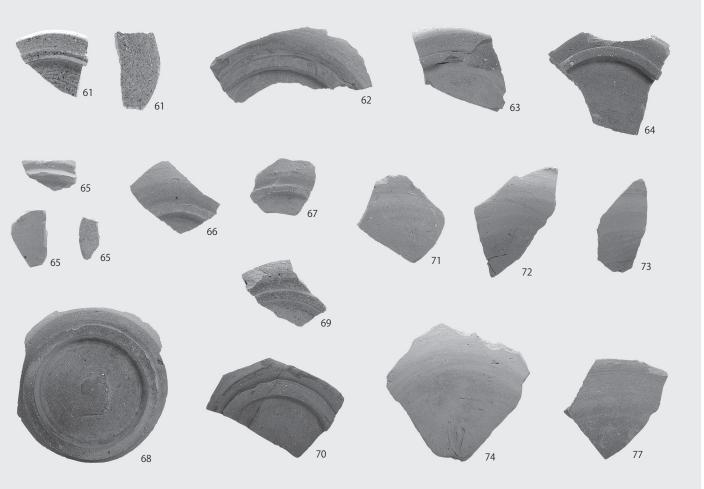


図版 9 遺物写真(1)SP01 出土遺物、須恵器 〔縮尺 1/2〕

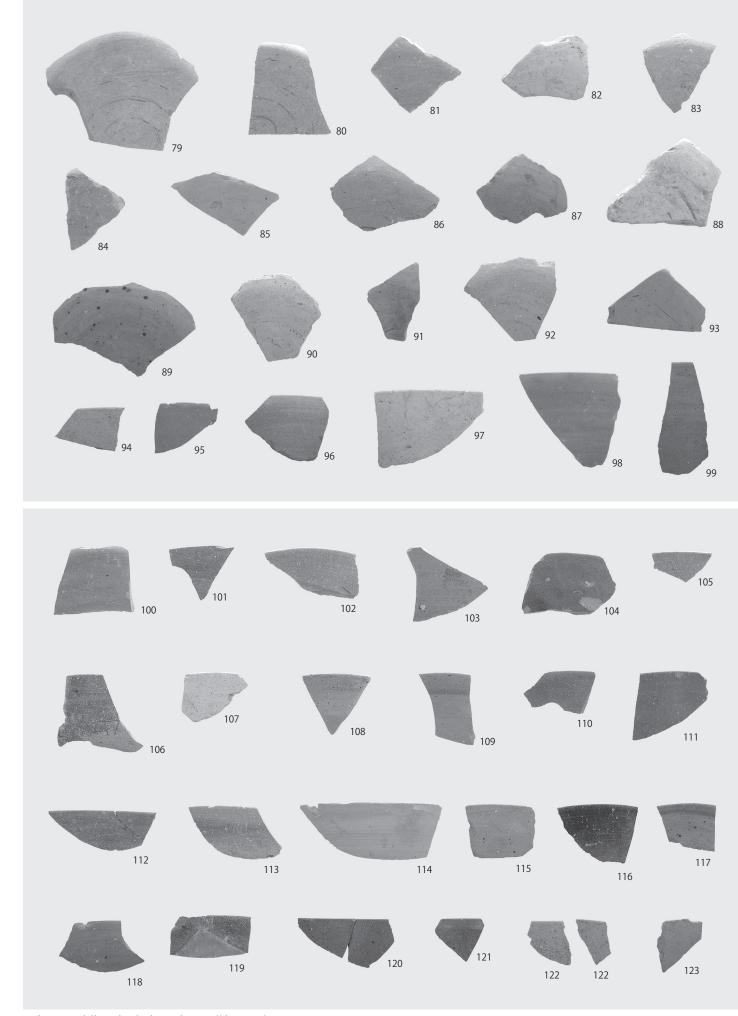


図版 10 遺物写真(2)須恵器 〔縮尺 1/2〕

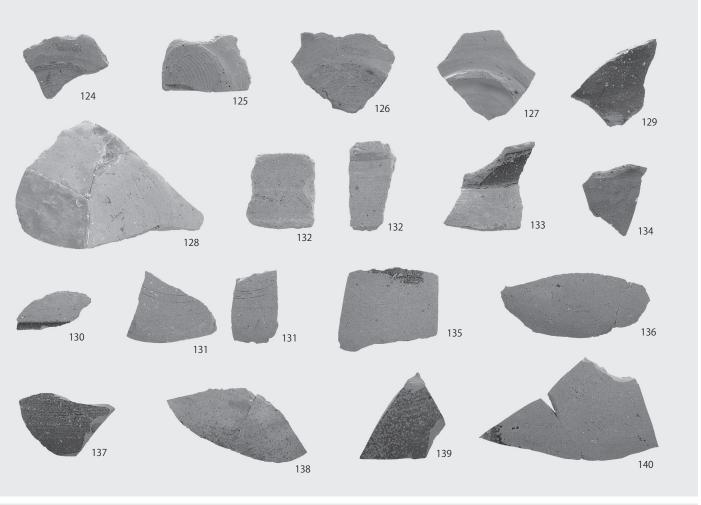


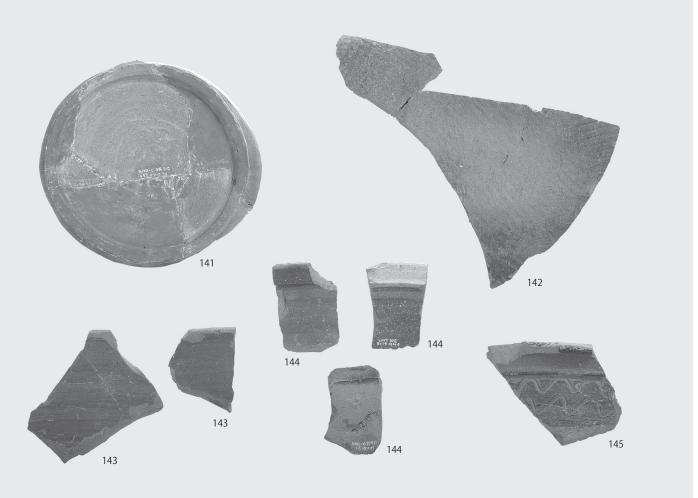


図版 11 遺物写真(3)須恵器 〔縮尺 1/2〕

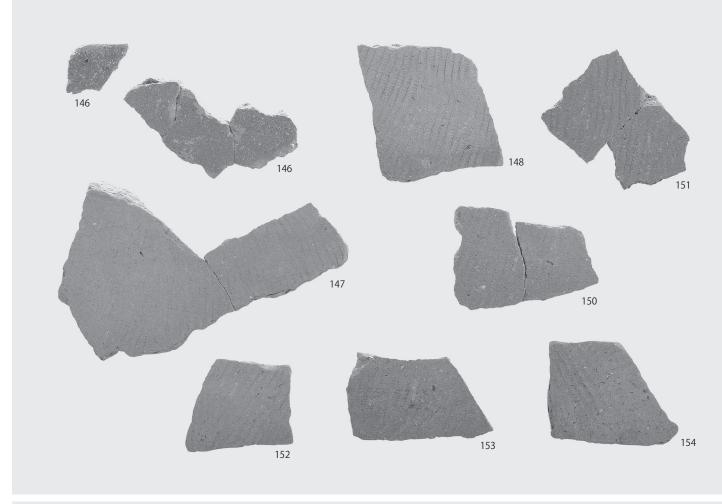


図版 12 遺物写真(4)須恵器 〔縮尺 1/2〕



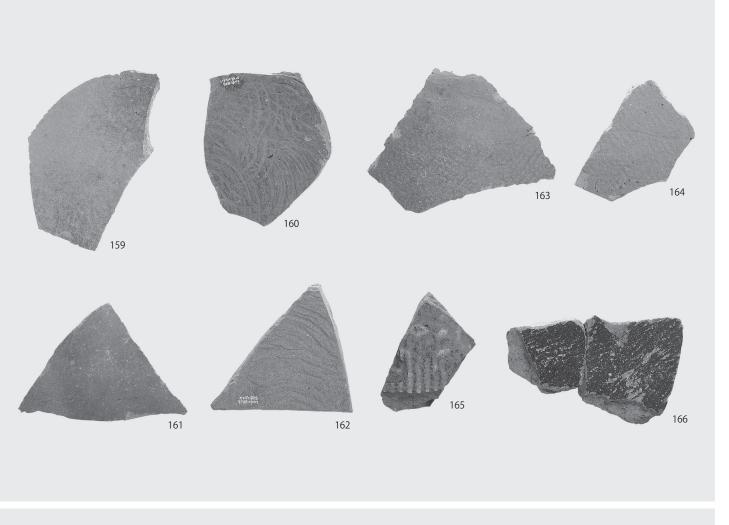


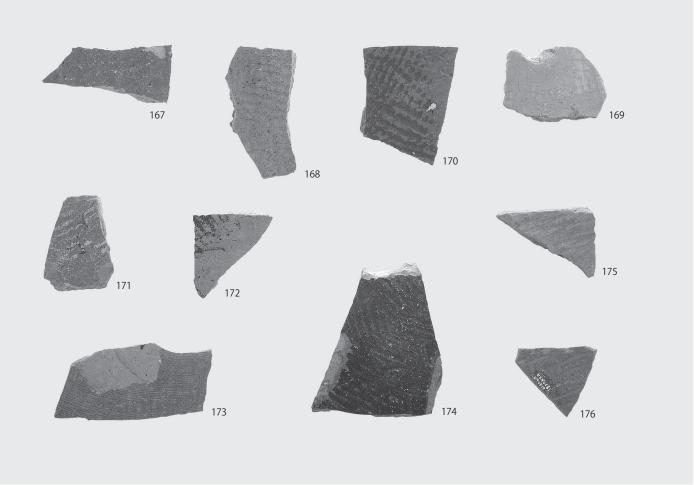
図版 13 遺物写真(5)須恵器 〔縮尺 1/2〕



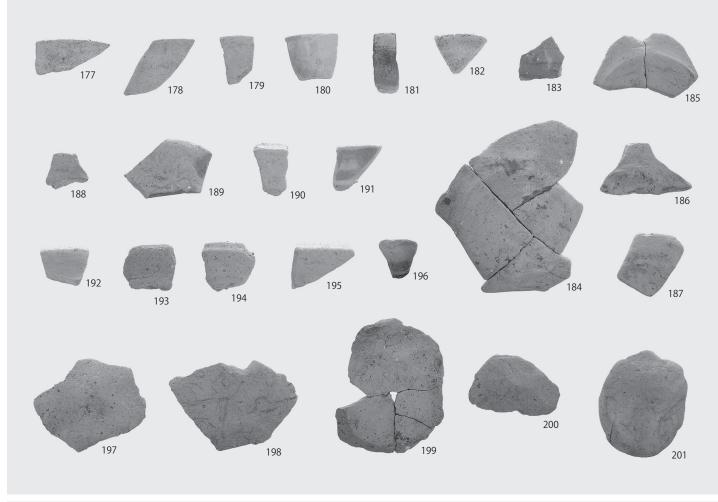


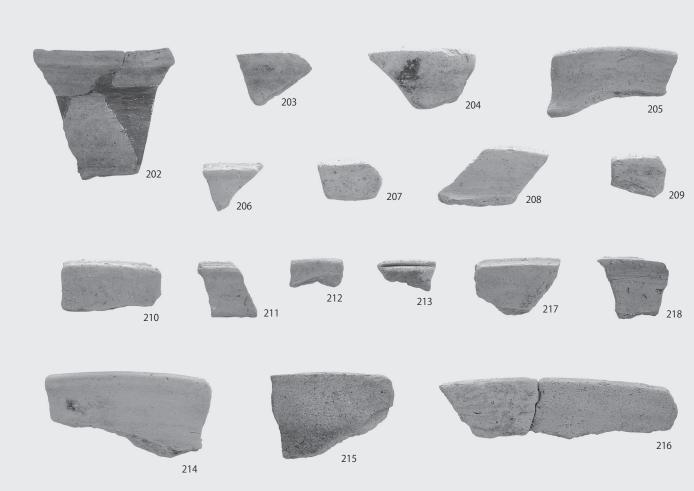
図版 14 遺物写真(6)須恵器 〔縮尺 1/2〕



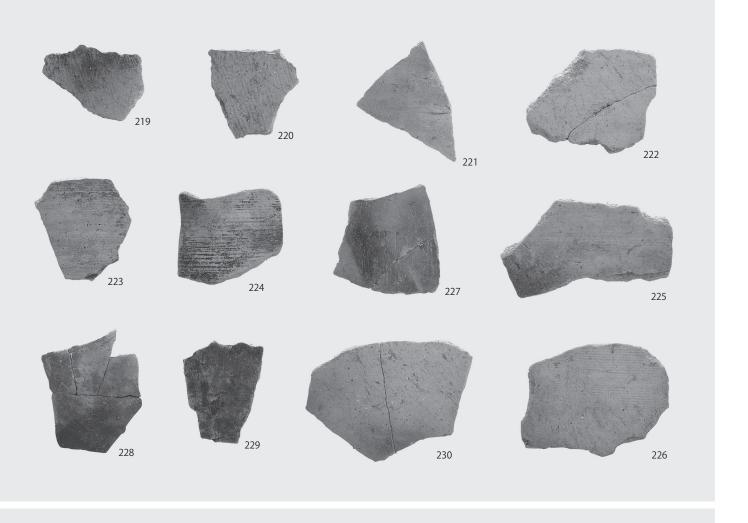


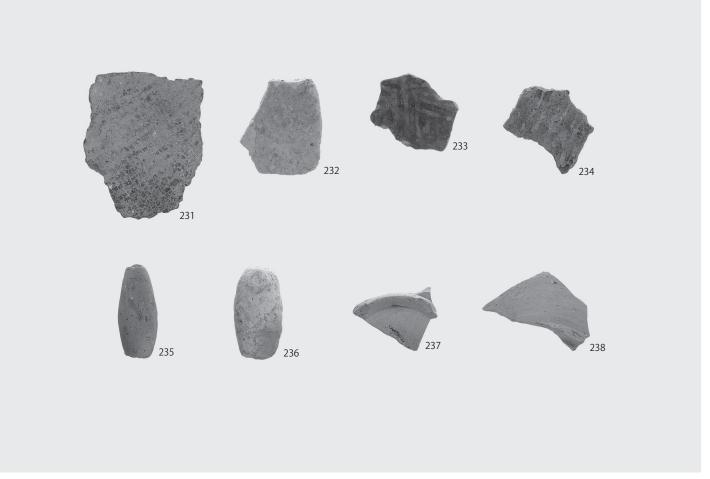
図版 15 遺物写真(7)須恵器 〔縮尺 1/2〕





図版 16 遺物写真(8)土師器 〔縮尺 1/2〕





図版 17 遺物写真(9)土師器・土製品・灰釉陶器 〔縮尺 1/2〕

## 報告書抄録

ふりがな	とやまけんかみいちまちひえだし―いせきはっくつちょうさほうこくしょ ―しんひえだこうみんかんしんちくこうじにともなうきんきゅうはっくつちょうさ―									
書名	富山県上市町稗田C遺跡発掘調査報告書 -新稗田公民館新築工事に伴う緊急発掘調査-									
編著者名	三浦知徳(編)、三辻利一									
編集機関	上市町教育委員会									
所 在 地	〒 930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺 1 番地 TEL 076-472-1111									
発行年月日	2010年3月31日									
ぶりがな 所収遺跡名	。 り が な 所 在 地		市町村	コード 遺跡番号		<b>注</b>	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	調査原因
でえだしーいせき 稗田C遺跡	とやまけんなかにいかわぐん 富山県中新川郡 かみいちまちひえだ 上市町稗田		16322	322076	36° 41′ 38″		137° 21′ 20″	20091029 ~ 20091116	98	記録保存調査
所収遺跡名	種別主な時代		な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
稗田C遺跡	集落	飛鳥時代   奈良時代   東 落 平安時代   中 世   近 世		穴 1 (古代)		須 恵 器 土 師 器 土 製 品 灰釉陶器 珠 洲 越中瀬戸		東大寺領荘園大藪荘の 開拓に関わる集落跡か。		
要約	稗田C遺跡は富山県中新川郡上市町稗田地内に所在する奈良時代を中心とする遺跡で、上市川の旧河道と白岩川に挟まれた沖積扇状地微高地上に立地する。今回の調査は公民館建設工事に伴って遺跡範囲の中央北寄りの地点において実施したもので、調査面積は98㎡である。調査では、遺構としては性格不明の穴が1基検出されたのみであるが、遺物包含層から須恵器・土師器を中心とする多量の遺物が出土した。遺物の年代は7世紀末~9世紀後半に及ぶが、主体となるのは概ね8世紀中葉~後半代である。その他、ごく少量の中世・近世遺物も出土している。遺跡の立地や遺物の年代、須恵器の胎土分析の結果などにより、本遺跡は東大寺領荘園大藪荘の経営が軌道に乗る以前、開拓初期の段階における労働力徴発を目的として新規に設けられた集落であった可能性が窺われた。									

## 富山県上市町 稗田C遺跡発掘調查報告書

-新稗田公民館新築工事に伴う緊急発掘調査-

編集·発行:上市町教育委員会

₹ 930-0393

富山県中新川郡上市町法音寺1番地

Tel: 076-472-1111 / Fax: 076-473-2085

発 行 日:2010 (平成22) 年3月31日

刷:株式会社チューエツ 印

